

3 審査および賞

1 審査会 令和7年10月上旬

2 審査員 岡山県習字教育研究会

3 賞

●個人

◆岡山県知事賞 2点 賞状と副賞

◆岡山県議会議長賞 2点 賞状と副賞

◆岡山県教育委員会教育長賞 3点 賞状と副賞

◆岡山県習字教育研究会会長賞 3点 賞状と副賞

◆岡山県農業協同組合中央会会長賞 3点 賞状と副賞

●団体

◆最優秀賞・優秀賞・努力賞 受賞校に賞状と副賞



© 2006 JA-KYOSAI

全共連岡山県本部部長賞

◆金賞 5点 賞状と副賞

◆銀賞 36点 賞状と副賞

◆銅賞 54点 賞状と副賞

◆佳作 若干点 賞状と副賞

◆入選 若干点 賞状

◆参加賞 応募者全員

4 入賞発表

●入賞発表は令和7年11月下旬、JAを経由して出品小・中学校に通知いたします。

●表彰式は令和7年12月13日（土）に行う予定です。

5 全国コンクールへの応募

（主催：全国共済農業協同組合連合会 全国本部）

●入賞した優秀作品のうち、（半紙・条幅とも）各学年別最上位の1点を全国コンクールに応募します。

●全国コンクールにおいて、上位入賞者は東京で令和8年2月6日（金）に表彰式を行う予定です。

〈後援〉岡山県・岡山県議会・岡山県教育委員会・岡山県習字教育研究会・JA岡山中央会
山陽新聞社・株式会社 日本農業新聞・NHK岡山放送局・RSK山陽放送
OHK岡山放送・TSCテレビせとうち・RNC西日本放送・KSB瀬戸内海放送



令和7年度 JA共済岡山県小・中学生 書道コンクールの ご案内



1 趣 旨

JA共済では、組合員およびその家族・地域住民の生命・財産を危険から守るための保障活動・地域貢献活動に積極的に取り組み、“しあわせの輪”をひろげるよう努力しています。

その一環として共済事業の相互扶助・思いやりの精神を、次代をになう小・中学生にも伝えていくとともに、児童・生徒の書写教育に貢献することを目的として「書道コンクール」を開催します。

2 募集内容

1 課 題 ●別紙のとおり

2 応募資格

農業協同組合（以下「JA」という。）の所在区域内の小学校および中学校（義務教育学校等含む）、特別支援学校の小学部・中学部（以下小・中学校という。）に在籍する児童・生徒とします。

3 応募点数 ●半紙・条幅とも1人各1点とします。

4 締 切 日 令和7年9月3日（水）

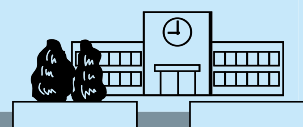


© 2006 JA-KYOSAI

〈主催〉

JAグループ岡山
JA共済連岡山

～心の豊かさ、地域社会との
絆づくりを大切に～



●連絡先

Blank box for contact information.

5 作品の規格

- 〈半 紙〉半紙（タテ約33cm×ヨコ約24cm）
※一般的に使用されるものと異なるサイズの紙は使用しないでください。
- 〈条 幅〉画仙紙半切（タテ約136cm×ヨコ約35cm）
- 〈字 体〉小学校の学習指導要領の学年別漢字配当表に示す字体に準ずるものとします。
- 〈書 体〉小学生は楷書、中学生は楷書または行書とします。



6 応募方法

学校にて出品目録・名札を作成のうえ、所属するJAにご応募ください。

※個人・書道教室等からの直接の応募はできません。

「出品目録」および「名札」の作成

- システムで作成する場合は、添付の『「出品目録」および「名札」作成システム操作マニュアル』をご参照ください。
- 手書きで作成する場合は、添付の『応募方法（手書き用）』をご参照ください。

おねがい

- 締切期日・作品の規格、応募方法などを遵守ください。
- 応募作品が募集内容と合致しない場合は無効になることがあります。
- 誤字・補筆のないようにご注意ください。



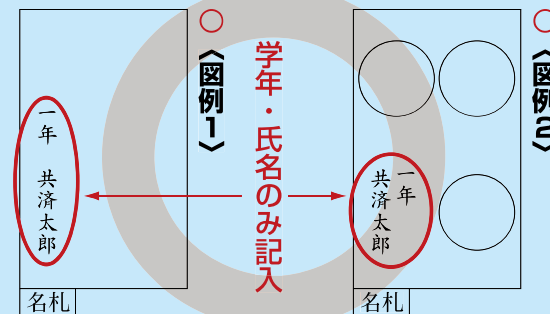
© 2006 JA-KYOSAI

応募作品について

- 応募作品の著作権および、作品の二次使用等に関する一切の権限は応募の時から期限の制限なく主催者に帰属し、作品の返却はいたしません。
- 優秀作品については作品をはじめ、氏名・学校名等を印刷物・広報誌・ホームページ・展示等に使用することがあります。
- 出品目録・名札等不足するときは、JA共済連岡山のホームページ（<https://www.ja-kyosai-okayama.jp/contest>）から印刷可能です。
- 募集について不明な点があるときは、主催者まで連絡してください。
- 提出いただいた個人情報については、応募者名簿を作成する等のコンクール業務に必要な範囲でのみ使用します。

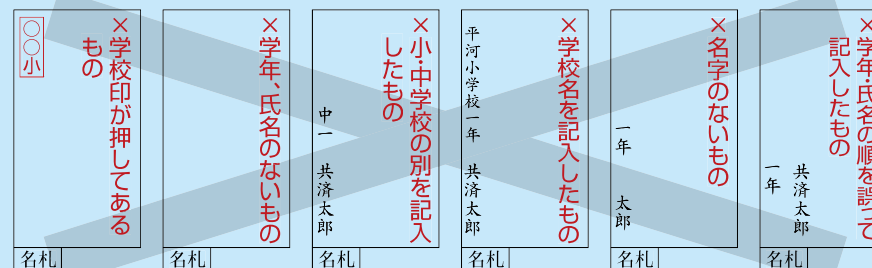
制作上の注意事項

正しい書き方 (学年・氏名のみ記入します)



※半紙3文字の課題の場合の文字配列は、上記「正しい書き方」図例2に示してあるとおりとし、その場合の学年・氏名の配置は、図例1、2どちらもでも可とします。

誤った書き方 (学年・氏名の記入についてご注意ください)



①小学校第1学年および第2学年

学年・氏名とも「漢数字」「漢字」「ひらがな（カタカナも可）」いずれでもかまいません。ただし、アラビア数字は使用しないでください。

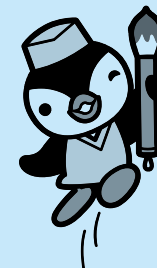
②小学校第3学年以上

学年は「漢数字」、氏名は原則「漢字」とします。

※義務教育学校等の学年表記については学校の考え方に準じます。（七年、八年、九年と記入してください。）

7 応募の際のチェック事項（先生方へのお願い）

- ☐ 規定の名札を作品の左下隅に貼り付けていますか。
- ☐ 作品へ学校名等の記入、押印を~~していない~~ことを確認しましたか。
- ☐ 応募作品には、出品目録を添付していますか。
- ☐ 出品目録の番号は各学年ごとに一括通し番号になっていますか。



© 2006 JA-KYOSAI



(例)



名札



作品左下に(例)のように
はってください。



県 名	岡山	通し番号	
学校名	----- 立 ----- 学校		
学 年	第-----学年	共済連欄	
氏 名			
J A 名			



(例)



名札



作品左下に(例)のように
はってください。



県 名	岡山	通し番号	
学校名	----- 立 ----- 学校		
学 年	第-----学年	共済連欄	
氏 名			
J A 名			



(例)



名札



作品左下に(例)のように
はってください。



県 名	岡山	通し番号	
学校名	----- 立 ----- 学校		
学 年	第-----学年	共済連欄	
氏 名			
J A 名			



(例)



名札



作品左下に(例)のように
はってください。



県 名	岡山	通し番号	
学校名	----- 立 ----- 学校		
学 年	第-----学年	共済連欄	
氏 名			
J A 名			

募集課題 (半紙の部)

※小学生は楷書、中学生は楷書または行書とします。
字体は、小学校の学習指導要領の学年別漢字配当表に示す
体に準ずるものとし、このとおりではありません。
参考としてお配りしています。

小学生

第3学年	第2学年	第1学年
三年 共済太郎 またきね	二年 共済太郎 えめば	一年 共済太郎 わら

※半紙課題3文字の名前の位置は、「書道コンクールのご案内」をご参照ください。

第6学年	第5学年	第4学年
六年 共済太郎 の生 源命	五年 共済太郎 る流 雲れ	四年 共済太郎 結 実

中学生

第3学年	第2学年	第1学年
三年 共済太郎 雨晴 読耕	二年 共済太郎 振農 興業	一年 共済太郎 理相 解互

規格：半紙（タテ約33cm × ヨコ約24cm）

募集課題 (条幅の部)

小学生

第4学年	第3学年	第2学年	第1学年
四年 共済太郎 食を育む	三年 共済太郎 せみの声	二年 共済太郎 すばる	一年 共済太郎 やさい

中学生

第3学年	第2学年	第1学年	第6学年	第5学年
三年 共済太郎 信頼の醸成	二年 共済太郎 協同の精神	一年 共済太郎 歴史を紡ぐ	六年 共済太郎 不断の努力	五年 共済太郎 耕す大地

規格：画仙紙半切（タテ約136cm × ヨコ約35cm）

令和7年度 JA共済岡山県小・中学生書道コンクール「課題」

区 分		条 幅 の 部	半 紙 の 部
小学生	第1学年	やさ い	わ ら
	第2学年	す ば る	め ば え
	第3学年	せみの声	たねまき
	第4学年	食を育む	結 実
	第5学年	耕す大地	流れる雲
	第6学年	不断の努力	生命の源
中学生	第1学年	歴史を紡ぐ	相互理解
	第2学年	協同の精神	農業振興
	第3学年	信頼の醸成	晴耕雨読

字体についての解説

明朝体と筆写の楷書との関係について

常用漢字表では、個々の漢字の字体（文字の骨組み）を、明朝体のうちの一種を例に用いて示した。このことは、これによって筆写の楷書における書き方の習慣を改めようとするものではない。字体としては同じであっても、明朝体の字形と筆写の楷書の字形との間には、いろいろな点で違いがある。それらは、印刷文字と手書き文字におけるそれぞれの習慣の相違に基づく表現の差と見るべきものである。以下に、分類して、それぞれの例を示す。いずれも「明朝体－手書き（筆写の楷書）」という形で、左側に明朝体、右側にそれを手書きした例を示す。

1 明朝体に特徴的な表現の仕方があるもの

(1) 折り方に関する例

衣－衣 去－去 玄－玄

(2) 点画の組合せ方に関する例

人－人 家－家 北－北

(3) 「筆押さえ」等に関する例

芝－芝 史－史 入－入 八－八

(4) 曲直に関する例

子－子 手－手 了－了

(5) その他

之－之 々－々 心－心

2 筆写の楷書では、いろいろな書き方があるもの

(1) 長短に関する例

雨－雨雨 戸－戸戸戸 無－無無

(2) 方向に関する例

風－風風 比－比比 仰－仰仰
糸－糸糸 ネ－ネネ ネ－ネネ
主－主主 言－言言言 年－年年年

(3) つけるか、はなすかに関する例

又－又又 文－文文 月－月月
条－条条 保－保保

(4) はらうか、とめるかに関する例

奥－奥奥 公－公公 角－角角
骨－骨骨

(5) はねるか、とめるかに関する例

切－切切切 改－改改改 酒－酒酒
陸－陸陸陸 宀－宀宀宀 木－木木
来－来来 糸－糸糸 牛－牛牛
環－環環

(6) その他

令－令令 外－外外外 女－女女
叱－叱叱叱